

あさひ環境通信 vol. 2

発行日:平成 26 年 7 月 7 日

発行:朝日メンテナンス工業(株) 統合本部 バリュー推進

第44期朝日安全衛生大会 盛大に開催される!

さる6月13日(金)名古屋駅キャッスルプラザ鳳凰の間にて、お得意様6社13名様、お取引様48社63名様、現場常駐者72現場80名、スタッフ30名、総数187名と、熱気あふれる満席の会場で盛大に開催されました。

今回の構成は、1部、2部、3部とメリハリをつけ、1部では「2S(整理・整頓)(清掃編と設備編)」「KY(危険予知)活動」の実践報告とビデオとパワーポイントで編集した映像とグラフで分かりやすくしたことが好評でした。

また2部では愛知労働局労働衛生監督専門官・濱田講師のユーモア溢れる安全講話。3部では渡邊社員、植田社員による当社「バイオ」「環境」などの取り組みの発表があり、科学的な未来志向に興味をもって清聴されました。

なお、渡邊社員は「名古屋学芸大学・客員研究員」、植田社員は愛知県環境部が主宰する「愛知環境塾・塾生」として会社を一步で、日常業務の合間をぬって研鑽を重ねています。



※なお、今回の反響は、社員アンケートに表われています。

「この研修はあなたにとって有意義なものでしたか？」

有意義でない	あまり有意義でない	ふつう	有意義	とても有意義	無回答
0名	0名	23名	48名	7名	2名

「この研修内容について」

理解できなかった	あまり理解できなかった	ある程度理解できた	理解できた	無回答
0名	4名	48名	25名	3名

「この研修内容は今後の職務にいかせますか？」

ほとんど活かさない	いくらか活かせる	活かせる	大いに活かせる	無回答
0名	20名	45名	9名	6名

「この研修の時間配分はいかがですか？」

短い	やや短い	ふつう	やや長い	長い	無回答
0名	2名	65名	5名	4名	2名

以上のように、おおむね好評との結果が出ています。今回の様な全社的な安全衛生大会は初めてであることから、十分な準備期間を設けたこと、また、新しい社内部署として「バリュー推進」が実施機関として企画・立案したことが大きな力となりました。

すでに来期、次回の朝日安全衛生大会の準備は始まっています。是非ともご期待ください。



中部エリア事務所・植田悠一さんが「あいち環境塾」塾生に選ばれました!

愛知県が環境のプロジェクトやビジネスを実現し成功させるために設ける「あいち環境塾」に中部エリア事務所の植田悠一さんが塾生として選ばれました。

この「あいち環境塾」の特徴は『ビジョンとこころざしを持った人材が集う「塾」』、『各分野の第一人者と対話ができる「塾」』、『「環境」を多角的に学び「統合」をめざす「塾」』というもので、この6月から12月まで日本の著名な講師陣による座学や、名大を主とする地元大学の若手研究者による指導を受けます。なお、プログラム・コーディネーターはトヨタ自動車(株)総合企画部長の近藤さんが担当されます。

既に当社は、外部学術研究機関へ中部エリア事務所の渡邊さんを派遣しておりますが、日常業務を持ちつつ研修にいそむことは、当社にとり大きな知的財産になるものと確信します。渡邊さん、植田さんどうか頑張ってください。



塾生に選ばれた
植田さん



朝日・バイオケアシステム® 作業開始！！

あさひ環境通信 vol.1 で紹介しました皇居外苑レストハウスイレのバイオケアシステムによる清掃が去る5/13より始まりました。今回は実際の作業の取り組みについてご紹介します。「バイオケアシステム」については只今、特許庁へ登録商標を申請中です。



バイオプレートを取り付けます。水がでるとプレートを通水してバイオ水になって排水管の尿石が剥がれ、消臭します。



ポリタンクにバイオツールを浮べてバイオ水を生成してペットボトルにとりわけて清掃水として準備します



清掃管理している(財)国民公園協会の職員の方々に関東エリア事務所のメンバーがバイオ水の作業指導をしました。



開苑中は定期的に床面をバイオ水でモップ拭き、便器内部目皿や排水トラップをバイオ水で念入りに洗浄します。



閉苑したら床・便器を十分に散水洗浄し、その後バイオ水を噴霧器で噴霧して完了です。

健康管理について ~ 作業中、熱中症にならないために...

これから暑い日が多くなります。体調管理には十分注意して熱中症対策をお願い致します。

熱中症は、ちょっとした注意で防ぐことができます。普段から心掛けて欲しいポイントを挙げてみました。



Point1 体調を整える

睡眠不足や風邪気みなど、体調の悪いときの勤務は特に注意が必要です。

Point2 服装に注意

通勤時の服装は通気性の良い洋服を着て、きちんと帽子をかぶりましょう。

Point3 こまめに水分補給

作業中に「のどが渇いた」と感じたときには、すでにかかなりの水分不足になっていることが多いもの。定期的に少しずつ水分を補給しましょう。特に夏場は汗と一緒に塩分が失われることを考えると、スポーツドリンクなどを飲むのがオススメです。

Point4 年齢も考慮に入れて

体内の機能が発育途中の子どもや、体力が衰えはじめた高齢者は熱中症になりやすい。年齢を意識して、予防を心がけることも大切です。

熱中症になってしまったら

- ・ 涼しい日陰やクーラーの効いた室内などに移動する
- ・ 衣類をゆるめて休む
- ・ 体を冷やす

氷や冷たい水でぬらしたタオルを首まわり、脇の下や手足に当てる。
氷や冷たい水がない場合は、タオルやうちわ、衣服などを使ってあおぎ、風を送って冷やす。

- ・ 水分を補給する

このとき、水分だけではなく、汗によって失われた塩分も補給する必要があります。スポーツドリンクなどを少しずつ何回にも分けて補給しましょう。

【編集後記】

今回の環境通信は盛りだくさんの内容になりました。次回は今回ご紹介できなかった「バイオケアシステム」の名古屋学芸大学との学術共同研究の報告をしますのでご期待ください。また、皆さんからのご意見・ご感想もお聞かせください。(W)

